

原子炉格納容器外側隔離弁駆動用電動機の損傷について

定期検査中のところ、10月14日午後10時40分頃、原子炉保護系インターロック機能検査^{*1}実施中、原子炉格納容器内廃液の移送用配管にある外側隔離弁（ドライウェルLCW外側隔離弁^{*2}）の異常を示す警報が発生したため、当該弁を確認したところ、駆動用電動機が損傷していることを確認しました。

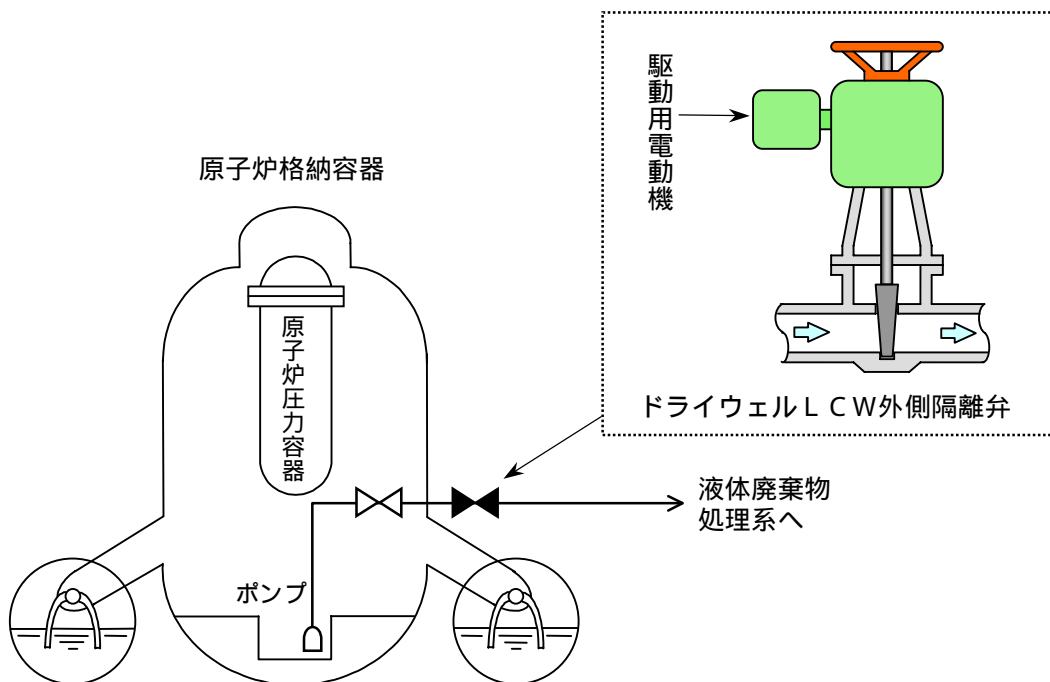
原因は、当該検査のために行った準備作業における仮配線の接続誤りにより、当該電動機が作動して過熱したものです。

再発防止対策として、作業対象配線を配線図面上でマーキングするなど確実に確認した上で配線を実施することとします。

当該駆動用電動機は、新品と取り替え復旧しました。

なお、外部への放射能による影響はありません。

- * 1 原子炉保護系インターロック機能検査：原子炉緊急停止系、非常用炉心冷却系等を働かせるための電気回路が正しく動作することを確認する検査。
- * 2 ドライウェルLCW外側隔離弁：原子炉格納容器の中の不純物濃度の低い廃液（LCW）を廃棄物処理系へ移送する配管に取り付けられており、万一、格納容器内に冷却材の漏えいがあった場合に冷却材を格納容器内に閉じ込めるための弁。



系統概略図